



すこやか

荻田町青少年育成町民会議だより



▲第12回ふれあい
ウォークラリー大会
スタート時



▲第12回ふれあい
ウォークラリー大会
表彰式の様子

第12回ふれあい
ウォークラリー
大会参加者 ▶



大人が変われば、子どもも変わる



▲田植え体験
◀「作って遊ぶ工作教室」

第13回荻田町青少年育成町民会議総会



4月26日(木)午後6時30分より中央公民館において第13回町民会議総会が開かれました。

来賓として行橋警察署から遠山昇少年課長、岡本裕二係長、荻田町議会から沖永春生議長が出席されました。

当日の出席者は八十四名、委任状が五十九名でした。

今回、羽廣正純さん(理事十年継続)と和田健一郎さん(理事八年退任)が表彰され、伊塚会長より感謝状が渡されました。

平成13年度の主な事業

4月1日 健全育成ポスター県表彰(健全育成部会)

7日 春休み特別補導(補導環境部会)

18日 少年を守る日の補導(補導環境部会)

26日 第13回総会(全部会共通)

5月16日 少年を守る日の補導(補導環境部会)

19日 港まつり花火大会補導

5月27日 第12回ふれあいウォークラリー大会(健全育成部会)

6月20日 少年を守る日の補導(補導環境部会)

7月中 青少年を非行から守る全国強調月間
社会を明るくする強調月間

健全育成ポスター作品募集(健全育成部会)

家庭の日・オアシス運動作品募集(家庭部会)

7月2日～24日

オアシス運動の「おはなし会」(家庭部会)

10日 広報紙「すこやか」第35号の発行(総務部会)

18日 少年を守る日の補導(補導環境部会)

21日 有害図書・図画等に対する要望書提出
(補導環境部会)

8月22日 健全育成講演会(健全育成部会)

8月4日 少年非行・シンナー等薬物乱用防止研修会
(補導環境部会)

少年を守る日の補導(補導環境部会)

28日 盆踊り大会補導

4日 夏休み特別補導

9月 いじめストップ強調月間

19日 少年を守る日の補導(補導環境部会)

10月7日 神幸祭補導

10月14日 少年を守る日の補導(補導環境部会)

町民体育祭

11月 全国青少年健全育成強調月間

伝承工作教室(健全育成部会)

家庭シンポジウム(家庭部会)

オアシス運動作品入選者発表

健全育成ポスター入賞者表彰式(健全育成部会)

25日 広報紙「すこやか」第36号発行(総務部会)

12月 少年を守る日の補導(補導環境部会)

部会合同研修会(補導環境部会)

オアシス運動・家庭の日看板設置(家庭部会)

少年を守る日の補導(補導環境部会)

年末特別補導(補導環境部会)

1月 大原八幡神社・港こんぴら宮どんど焼き補導
(補導環境部会)

少年を守る日の補導(補導環境部会)

2月12日 白庭神社どんど焼き補導(補導環境部会)

少年を守る日の補導(補導環境部会)

3月10日 広報紙「すこやか」第37号発行(総務部会)

少年を守る日の補導(補導環境部会)

春休み特別補導(補導環境部会)

(期日が変更になる場合があります)

平成13年度の重点目標

- 1 町民の参加を推進する中で地域・家庭・学校が連携して青少年の健全育成に努める。
- 2 心のふれあいを重視し「いじめ」問題をはじめ少年犯罪や非行の防止活動を積極的に推進する。
- 3 青少年にとって良好な環境づくりに努め、被害防止活動を推進する。
- 4 青少年の体験活動を充実し、自立・社会性を高揚する健全育成運動を推進する。
- 5 広報・啓発活動を一層推進する。

わたしの街、再発見 第12回ふれあいウォークラリー

5月27日、第12回ふれあいウォークラリーが開催されました。

健全育成部会の行事として毎年行われており、今回は「皐月の空に弥生の昔を訪ねて」をテーマに三原文化会館を中心とした4つのコースに43チーム176名が参加しました。

ウォークラリーは苅田レクリエーション協会が作成したコマ図を手掛かりに近在の遺跡や神社等をグルーブで訪ね歩くというもので、コース途中の公園で育成会ジュニアの皆さんとゲームをしたり難問、奇問に挑戦しながらタイム得点を加えた総合点を競うものです。

ゴール後は主催者から完歩証とジュース類が渡され、参加者は汗を浮かべながらも、雨上がりの半日を楽しんだ様子でした。

今年もロータリークラブの皆さんのご協力を得て、通行上危険と思われる箇所に健全育成部会の方々と立っていただき、無事に大会を終了することができました。



入賞者は次のとおりです。

4 km コース

一位 中尾 美雪チーム

二位 栗山 律子チーム

三位 本川ひとみチーム

7 km コース

一位 宇都宮 司チーム

二位 吉田 弘チーム

三位 楠 博明チーム

作って遊ぶ工作教室 「つくる」楽しさを体験

3月18日尾倉の総合福祉会館で「つくるって遊ぶ工作教室」が行われました。

今年はい白川校区老人クラブ皆さんの指導で竹とんぼや水鉄砲、ボランティニア協議会の皆さんの指導で人形作りを楽しみました。

町内の親子連れなど七十二名が参加し、午前中は工作、午後の遊技では、お年寄りから昔ながらの遊び方を伝授され大喜びでした。

今年度の健全育成部会主催の工作教室は十一月の「子どもまつり」(主催…育成会連合会)の中で同時開催される予定です。



ふれあいギャラリー



健全育成ポスター銀賞

原田 京子さんの作品

平成12年度青少年健全育成 ポスター入賞者(苅田町)

銀賞 原田 京子

銅賞 大峰 良子

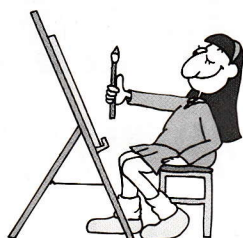
野口詩保里

守田 杏奈

門富 早恵

竹井 奈美

梶原 友希



4月1日に福岡県子ども会連合会による表彰式が行われ、入賞者には賞状と副賞が贈られました。

町民会議 7 月の行事案内

オアシス運動「おはなし会」の日程

(家庭 部会)

今年は、小学校に読み聞かせを広める会「マザーグース」(代表濱田順子)の皆さんが担当してくださいます。

各おはなし会の名称
与原小「スイミー」
荻田小「ゆめたいむ」
南原小「ポエポエ」
馬場小「おおきなポケット」
時間明記のない園は10時30分～11時の予定です。



日 程

7月2日(月)	第1ひまわり保育園	スイミー
5日(木)	荻田第1幼稚園	ゆめたいむ
5日(木)	9時45分～10時15分 第2ひまわり保育園	ゆめたいむ
5日(木)	11時～11時30分	
5日(木)	与原保育園	スイミー
6日(金)	みどり幼稚園	スイミー
9日(月)	若久保育所	ゆめたいむ
9日(月)	荻田幼稚園	各小学校からの希望者
10日(火)	すみれ(尾倉)	ポエポエ
10日(火)	すみれ(南原)	大きなポケット
13日(金)	白川保育園	大きなポケット
16日(月)	善立寺保育園	大きなポケット
18日(水)	わんぱく園	ゆめたいむ
19日(木)	聖母保育乳児センター	ポエポエ
24日(火)	青い鳥保育園	ポエポエ

健全育成講演会

(総務部会)

日 時 平成13年 7 月22日(日)

14時～

場 所 三原文化会館 大ホール

テーマ 「青少年アンビシャス運動が目指すもの」



講 師
ひゃくどみ
百留 隆男

福岡県京築福祉事務所
家庭児童相談員

福岡県アンビシャス運動
北九州部会推進委員会

有害図書・図画への要望書提出

(補導環境部会)

日 時 平成13年 7 月21日(土)

午後15時～

会員の皆さんが町内の書店やビデオ店を訪問し、有害書画追放の要望書を手渡します。



7 月は青少年を非行から守る強調月間です
この機会に自分・地域の子どもを見直しましょう

◎オアシス(あいさつ)・

家庭の日運動作品募集(家庭部会)

内容 作文、標語、ポスター、

書道、実践記録(小・中・高校生)

作文 400字づつめ、タテ書き、

小は2、中・高は3枚程度

標語 一人一句

ポスター 大きさは4つ切り

書道 小1・2年 つき

3・4年 父母

5・6年 親切

中学生 友情協力

高校生 家庭円満

全てかい書で

半紙タテ書き、毛筆

作品の表に、題材・学年・氏名

を書く。

実践記録 学年、学級、子ども会、

地域、家庭などでの実践記録

400字づつめ4枚程度

メ 切 13年9月5日(水)

提出 各学校又は町民会議事務局(三原文化会館内)

その他 全作品は県民会議へ提出

のため返却なし。標語の一部は

立看板用に使用予定。

◎健全育成ポスター募集(健全育成部会)

対象 町内小・中学生

課題 友だちづきあい、非行の

低年令化、いじめをなくす、心

のふれあい、遊びの見直し、心

と体をきたえる、万引きをなく

す、良い習慣づくり、耐える力

を育てる、読書の習慣をつける、

健康づくり(毎日の食事)、子

ども会活動など。

作品 大きさB3(54cm×38cm)

注意 一人一点、小1・3年生

は絵だけでもよい。4年生以上

は簡単なことば(標語らしいも

の)を入れて描く。

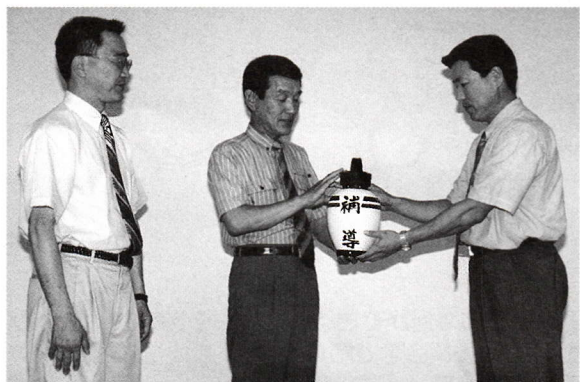
メ 切 9月14日(金)各学校へ提出。



健全育成ポスター銀賞

大峰 良子さんの作品

青商会からPTAへ



6月27日、町民会議の補導環境部会に所属する苅田青商会が結成25周年を記念して家庭部会所属の小中学校のPTAに補導用提灯16個を寄贈しました。

町内で日頃の健全育成活動の一助にしてほしいとの趣旨によるものです。

青商会は町内の事業主が集まった会で現在会員は21名。



秋にはモチつきだ

今年も田植え体験

6月9日、苅田町育成会連合会の子どもたち二十数名と保護者が田植えの体験学習をしました。

これは、町民会議総務部会所属の苅田ロータリークラブと、健全育成部会所属の町育成会連合会が昨年に引き続き丸谷寿代さん所有の水田をお借りして行ったものです。

田植えは初めてという子どもがほとんどで最初は恐る恐る水田に足を沈めていましたが、もち米の苗を手で足腰が痛くなるのを我慢しながら真剣な表情で取り組んでいました。

秋にはきつと豊かな実をむすぶことでしょう。

収穫されたもち米は11月に予定されている「子ども会まつり」のチャリティもちつき大会で使用されることになっています。

田植えに参加した平田けい子さんの談話

はじめは、ぬるぬるして気持ち



悪いと思ったけど、入ってみると冷たくて気持ち良かった。

倒れそうになって手をついたら腕まではまり、どろどろになりました。

田植えの名人から「女子はうまいね」といわれてとてもうれしかったです。

今月号のふれあいインタビューは中学校のクラブ活動を紹介する予定でしたが、諸般の事情により休載させていただきました。

(町民会議事務局)

青少年アンビシャス運動

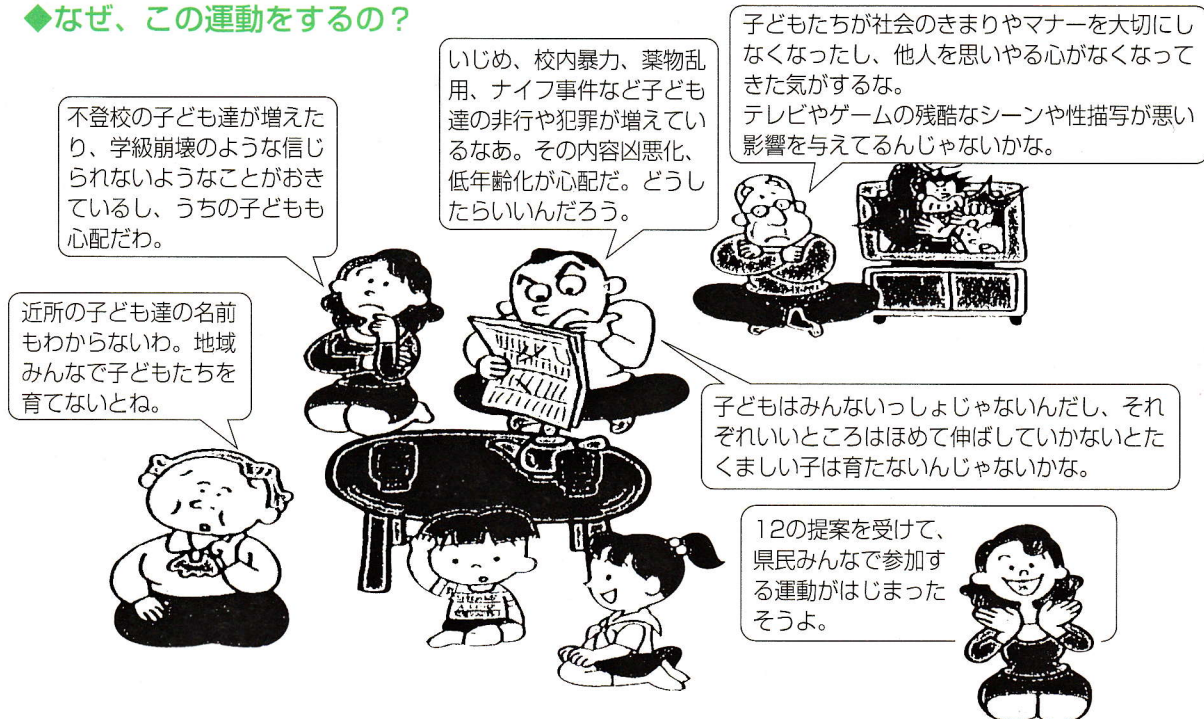
◆「青少年アンビシャス運動」とは…

アンビシャスな青少年を育成するため、県民全体で実行可能な具体的提言を検討し、実施する新たな県民運動を興そうというものであり、平成12年から福岡県が取り組んでいるものです。

◆アンビシャスな青少年＝「豊かな心・幅広い視野・それぞれの志を持つたくましい青少年」とは？

- 自らに誇りを持ち、他人を思いやり、自然や美しいものに感動する心、
- 自分との関係について、しっかりとした考えや国際的な視野を持って、
- 自分の目標を見つけ、それに挑戦し努力する、青少年です。

◆なぜ、この運動をするの？



そこで、私たちは何ができるのか、何をすべきかを県民の方々から意見をいただき、そして青少年アンビシャス運動100人委員会等で話し合いました。

平成13年2月6日、「青少年アンビシャス運動100人委員会（江崎玲於奈会長）」から福岡県知事に中間報告が提出され、つぎの12の提案がなされました。

- まず、大人が意識を変えよう
- 「うち」の家庭教育をそれぞれつくろう
- 乳幼児期から「社会力」をつけよう
- 読書をしよう
- 地域ぐるみで子どもを育てよう
- 自然体験をしよう
- 外国の青少年と切磋琢磨しよう
- 自らを鍛え、得意技を持とう
- 社会体験やボランティア活動をしよう
- 学校はアンビシャス運動の軸になろう
- 公民館や空き教室を活用して、子どもたちが放課後や休日に、友達と遊んだり、気軽に集まれる場所を地域に作ろう
- 社会で活躍する企業人、保護者、地域の人びとを学校に招き、子どもたちに「生きた手本」に触れさせよう
- フロンティアに挑んだ先人たちに学ぼう
- 企業も大学も意識を変えよう

詳しくは、福岡県のホームページ <http://www.pref.fukuoka.jp/> をご覧下さい。

最近「青少年アンビシャス運動」という言葉をよく聞きますが運動の内容を教えてください。

編集後記

21世紀を担う子ども達が明るくのびのびと自分の行動に責任をもてる子に育ってくれる様に願うのは、親だけでなく社会全体の願いでもあります。町民会議では5つの部会を作り連携しながら努力しています。「すこやか」では行事の紹介、子ども達の健全育成に関することなど分かります。お伝えできればと思っています。

(田畑 隆)

新しい世紀の初めての編集に委員一同は、より読み易く、親しみ易い「すこやか」にしたいと努力致しました。

そして、その名のように青少年のすこやかな心身の育成に少しでもお役に立つ事が出来たらと願っています。

(浜田いさ子)

平成13年度編集委員

委員長 千原 勲(総務)
委員 森 勝男(〃)
浜田いさ子(〃)
田畑 隆(環境)
山本 節子(家庭)
田畑 弘志(健康)
林崎 正弥(事務局)

編集・発行

苅田町青少年育成町民会議
すこやか編集委員会

☎093・434・1111

(内線390)